

栗林総務課長

河川はほぼ整備が完了しており、堤防の高上げ等の対策は予定されていません。一部未整備地区があり、大雨に農地が冠水する箇所が見受けられるが、大雨時には巡回監視等により安全を確保したい。土砂災害を的確に予測することは困難で、情報を把握して、総合的に判断している。

土砂災害警戒区域の指定には、事前の県の地元説明会に町も同席し、趣旨と避難について説明している。区域を示したマップ等を作っている。

住民周知は、防災無線の呼びかけや注意等のほか、職員が自宅訪問や電話で促しています。

児童生徒・ 災害への備えは

一山議員

小中学校や保育所に、地震の発生を知らせる緊急地震速報システム配備に対す



牟岐小学校 津波避難訓練

る見解を伺います。

普段は座布団として、頭から被ると浮力により浮くことができ、防寒の役目も、危険な物が飛んできても防護服チョッキにもなる救命胴衣やヘルメットを学校、保育所に配備する考えを伺います。存在位置を知らせる防災笛を高齢者や障害者、子ども達に無償配布してはどうか、防犯面でも非常に有効だと思うが、山間地域の備蓄倉庫に発電機等を備えてはと思うが、見解を伺います。

福井町長

J・アラートが、保育所、小中学校に設置されている。今後、新しい施設の整備過程で、そのシステムがカバーできる範囲などを考慮のうえ協議し、必要があれば同システムを設置したい。

峯野教育長

牟岐小学校は防災ずきん、河内小学校はヘルメットを配備しているが、統合によりどちらかに統一する方向で検討していきます。中学校は、配備されていません

が、必要性があるものと考え、小中学校で協議検討していきたい。保育所はヘルメットが配備されており、救命胴衣は、学校、保育所が移転して津波被害の可能性が低い場所になるので、必要ないと考えています。防災笛の無償配布については、装備の方法なども協議し、検討していきたい。

栗林総務課長

発電機は、要望があれば設置の方向ですが、山間部で自主防災組織が充実、結成されていないのが現状で、結成していただくためにも、相談しながら良い方向にいったらと思っています。

聴覚障害者に支援を

一山議員

聴覚障害者で補聴器を使っても聞き取ることのできない場合、人工内耳を埋め込む手術費用は、400万円円で保険が適用されていま

すが、1台120万円もするスピーチプロセッサや、電池の交換には多額の費用が掛かり、利用者の経済的負担が大きく、助成を行っている自治体がありますが、スピーチプロセッサの買い替えや、電池への助成について、検討も必要と思うが見解を伺います。

福井町長

人工内耳の埋め込み費用やスピーチプロセッサや電池の買い替え助成も、これまでは本町では要望もなく、助成制度等は設けていません。現在町内に対象の方がいるようですが、今後助成が必要であれば協議したい。

岩田住民福祉課長

人工内耳の埋め込み手術助成は、18歳以上は更正医療、18歳未満は育成医療の対象となっています。買い替えは、更正医療の対象に